

学校の教育目標

学校教育目標

心身共に健康で、円満な人格の育成

校訓

よく考え

豊かに

たくましく

(1) めざす子ども像

- よく考え、よく学び、主体的に行動する子
- 思いやりや感動する心を持ち、命を大切にする子
- 礼節を重んじ、自らを律することのできる子
- 強い心や体を持ち、たくましく生きる子

(2) めざす子ども像にせまるための手立て

- ① 学習の基礎基本の定着
 - 「読む・書く・計算する」の基礎基本を根気よく粘り強く繰り返し習得させる。
 - あいさつ、返事、発言の仕方、聞く態度等の授業マナーを定着させる。
- ② 総合的な学習の充実
 - 地域の人材や環境を生かした体験的活動に積極的に取り組ませる。
 - 課題を見つけ、解決していこうとする探求的な能力や態度を育成する。
 - 人との関わり方のスキルを身につけさせる。
- ③ 道徳教育を充実
 - 道徳の授業を大切にしたい、生活に生きる道徳的な考え方や行動の仕方の育成する。
- ④ 特別支援教育の充実
 - 将来社会生活をおくる上で必要な、知識や技能、習慣の定着を図る。
 - 支援の必要な児童と健常児がともに活動することにより、相互理解を図る。
- ⑤ 人間力の育成
 - 学校生活のあらゆる場面を通して、あいさつや協力、思いやり、責任と感謝などの人としてのあり方の基礎を育てる。
- ⑥ 安全教育の充実
 - 安全教育を充実させ、あらゆる危険から身を守る方法を身につけさせる。
- ⑦ 安全安心な教育環境の整備
 - 子どもたちが安心して生活できる校内環境の整備に努める。
 - 家庭、地域、学校の連携を密にし、地域全体で子どもたちを育てる意識を醸成する。

教職員は、常に

- 教育愛と情熱を持って、自己研鑽に努める。
- 子どもたち一人ひとりに目と心が行き届いた教育の実践を心がける。
- 節度を重んじ、良識ある言動を心がける。

今年度の重点

- 最後まで、あきらめずがんばる
- きちんとあいさつができる
- 自分がされていやなことは人にしない
- ★ 常に地域とともに歩む学校でありたい。